

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第13号

校訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和4年3月1日(火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『引き継がれる思い』

校長 小熊 誠

寒い。本当に寒い日が続いていますが、大原では、生徒も教職員も熱い心で、寒さとコロナウイルスと闘っています。保護者・地域の皆様も、お体には十分御留意ください。

まず御報告です。皆様に御心配をおかけしているグランド改修ですが、メインの北グランドがいよいよ2月7日から使用可能となりました。皆様のおかげで素晴らしいグランドとなりました。ありがとうございました。生徒たちもとても喜んでいました。南グランドも卒業証書授与式までには何とかなる予定です。御期待下さい。

さて2月14日、巷ではバレンタインデーです。しかし大原では、悲しいお知らせを生徒にしなくてはいけない日となってしまいました。「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延期されたことにより、「館岩少年自然の教室」を中止せざるを得なくなりました。生徒



には、放送で私から中止を伝え、廣池主任に代表して2年職員の思いを伝えてもらいました。昨年、生徒と教職員が「以湯沃雪」をスローガンに心を一つに取組んできた2年生最大の行事です。「以湯沃雪」難しい四字熟語ですが、「あたりまえのこと」という意味だそうです。ルールを守り、学び、楽しむことをあたりまえに行おうという素晴らしいスローガンです。2年生は、このスローガンの下、あいさつ等のキャンペーンも始めていました。教室や廊下は、事前学習での取組でいっぱいです。2年生の思いは、全力で館岩に向かっていました。放送を聴いて、涙ぐんでいた生徒もいたそうです。廣池主任の思いは、「大原中2年生 前へ！」という言葉で締められました。館岩に向けての2年生の動き、ここからが勝負です。オリンピックの小平選手の言葉ではありませんが、「成し遂げることはできませんでしたが、やり遂げることはできました」と言えるようになるはず。そして2年生の思いは、引き継がれていきます。皆様、どうぞ温かく見守りください。2年生、きっと大原の顔として渋みを加えたさらに「いい顔」になり、輝きを放ってくれると信じています。御期待下さい。

そして、3月15日には、第68回卒業証書授与式が挙行されます。義務教育修了の中学校最大の儀式です。3年生は、自分の進路と正面から向き合い、悩み、それぞれの道を選択するために、1月22日を中心に実施された私学受験、2月24日・25日の公立受検等に挑んできました。その結果を受け止め、大原全員で掲げた「生徒の、生徒による、生徒のための学校」から、今度は「自分の、自分による、自分のための人生」を切り拓く長く険しいマラソンロードに飛び出していきます。卒業証書授与式はいわばそのスタートです。スタートラインに自信をもって立つためには、あらゆる準備、そしてやれることはやったという満足感と安心感が必要です。大原の3年生は全員、大原での3年間を胸に自信に満ち溢れた顔でスタートラインに立てると信じています。そして3年生の思いは、引き継がれていきます。皆様には、是非その3年生の思いを、姿を見ていただきたかったところですが、残念ながら今年もそれは叶いませんでした。保護者の皆様各1名のみ参加、地域の皆様の参加は見送らせていただくことになりました。申し訳ございません。どうぞ3年生のこれからの御期待下さい。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校